

事業番号	事務事業名	特定疾患医療交通費補助事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01010	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	福祉係	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	13 地域福祉の推進	根拠法令等	鏡野町特定疾患医療附帯療養交通費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	年に2回(9月、3月)、鏡野町に住所を有する特定疾患(腎臓機能障害)に罹患し、通院治療を受けている者に対して交通費の一部を補助する。対象者の把握→申請案内→受付→内容審査及び補助金額の算定→補助金の交付	平成2年、人口透析治療を受けている身体障害者からの強い要望により開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象しているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 身体障害者手帳を有する通院している腎臓機能障害者	ア 通院している腎臓機能障害者	人	見込 実績	48 49	48 45	50 47	50	50
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 通院に係る経済的な負担を軽減する	ア 経済的負担が軽減された人数	人	目標 実績 達成率	48 49 102.1%	48 45 93.8%	50 47 94.0%	50	50 94.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 申請案内通知、受付、審査	ア 申請案内、受付、審査、支給件数	件	目標 実績 達成率	90 88 97.8%	90 91 101.1%	90 86 95.6%	90	90 95.6%
イ 補助金額の算定、支払	イ 支払金額	千円	目標 実績 達成率	5,490 4,725 86.1%	5,490 5,106 93.0%	5,000 4,912 98.2%	5,000	5,000 98.2%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01 03 項		01 01 目		予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		民生費		社会福祉費		社会福祉総務費		特定疾患医療交通費補助事業費				
(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町 債							町 債						
その他特財							その他特財						
一般財源	5,490	5,106	5,000	5,532	5,532	-106	一般財源	4,725	5,105	4,912	5,532	5,532	-193
合計	5,490	5,106	5,000	5,532	5,532	-106	合計(A)	4,725	5,105	4,912	5,532	5,532	-193

財源名称	従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間	45	45	45	45	45				
	人件費計(千円)(B)	158	150	151	154	154	0			
	最終予算額	5,000 千円	予算執行率	98.2%	トータルコスト(A+B)	4,883	5,255	5,063	5,686	5,686

主な 支出事業内容 (予 算)	補助金	5,000 千円	主な 支出事業内容 (決 算)	補助金	4,912 千円

事業番号	01010	事務事業名	特定疾患医療交通費補助事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年対象となる透析導入者数は横ばいとなっている。今後は横ばいもしくは増加が考えられる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
平成18年の障害者自立支援法の施行や心身障害者医療費公費負担制度の改正等により、障害者の経済的負担が増大したため、補助金額の増額の要望があり、平成18年10月より対応。また事業開始当初は、身体障害者手帳1級所持者のみ対象であったが、平成19年に3級所持者にも対象を拡大した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
人工透析を受けている身体障害者の経済的な負担は大きく、増額希望の意見も寄せられている。また、高齢の対象者も多く、交通手段についての相談も寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 透析治療を行っている身体障害者の経済的負担が軽減されており、意図する結果に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 透析治療を行っている身体障害者が安定した生活を送るための支援として、行政が行うべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 事業開始当初に比べて対象者の拡大を行っており、見直しの余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 透析のため通院している対象者全員を補助金の交付対象としており、これ以上の成果向上は補助金の増額以外にはない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 廃止・休止した場合、対象者の通院に係る経済的負担が増大し、大きな影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 業務は補助金申請の受付、交付事務が主であり、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 障害者自立支援法施行後、補助金額を見直し増額を行っているが、障害者の通院に係る経済的負担はまだまだ重く、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 障害者の個人情報などを多く含むため委託も難しく、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 透析のため通院している方全員に対して通院回数の調査を行い、結果をもとに交通費を補助しており、不公平とは考えられない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	透析治療は永久的に続くものであり、週2~3回の通院が必要であるため、対象者の経済的負担は大きい。交通費を補助することで安定した生活に結びついている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 対象者の高齢化が進んだ場合、補助金額の増額や算定方法の見直しを検討する必要がある。また、通院手段の確保についても検討しなければならない。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									